

## 管内月間火山概況 (平成 20 年 1 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

### 噴火警報及び噴火予報の発表状況 (2月7日現在)

- 火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制) : 桜島
- 火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制) : 薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
- 噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常) : 九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山 (新燃岳)  
霧島山 (御鉢) 口永良部島
- 噴火予報 (平常) : 阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群  
米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況(平成 20 年 2 月分)は平成 20 年 3 月 6 日に発表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

#### 各火山の活動状況及び予報警報事項

桜島では、2月3日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。

口永良部島では、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）：警報解除を発表し、噴火警戒レベルを2から1に引き下げました。

その他の火山の予報警報事項に変更はありません。

#### 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

孤立型微動の発生回数が増えていますが、その他の観測結果に特段の変化は認められず、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）が続いています。

火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火の兆候は認められません。ただし、火口内では噴気や火山ガスの噴出が見られることから、火口内等（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）では火山灰の噴出等に警戒が必要です。火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

#### 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### 霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [噴火警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] 2月3日に噴火警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を引き上げ2月3日16時10分に、火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に上げました。

昭和火口（南岳東斜面、標高約800m）2月3日と6日に爆発的噴火が発生しました。3日10時18分、15時54分及び6日11時25分の爆発的噴火では火砕流が発生しました。6日11時25分の火砕流は昭和火口の東約1.3kmまで流下しています。また、2月3日15時54分と2月6日11時25分の爆発的噴火では噴石の飛散も観測しました。

昭和火口及び南岳火口から2km程度の範囲では噴火に伴う噴石及び火砕流に警戒が必要です。また、降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。風下側では降灰や火山れき（小さな噴石）に注意してください。

#### 薩摩硫黄島 [噴火警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

噴煙活動はやや活発で、地震回数はやや多い状態が続いています。硫黄岳山頂火口から半径約1kmの範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

#### 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）] 1月25日に噴火警戒レベル2（火口周辺規制）から引き下げ

1月25日14時に、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表し、火口周辺警報を解除しました。火山性地震や火山性微動は少なくなり、新岳火口では火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりました。

火口内で噴気や火山ガスの噴出が見られ、火口内等（この範囲に入った場合は生命に危険が及ぶ）では警戒が必要です。

#### 諏訪之瀬島 [噴火警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

今期間、噴火は観測されませんでした。長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も、御岳（おたけ）火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。